

# 産業建設分科会委員長報告

( H 2 5 . 1 0 . 1 )

産業建設分科会に付託されました平成24年度 亀岡市一般会計、各特別会計及び企業会計決算について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、平成24年度一般会計決算の本分科会所管分であります。その主なものは、

- ・ 労働費では、緊急雇用創出事業による就労支援
  - ・ 農林水産業費では、持続的発展をめざした農業振興施策
  - ・ 商工費では、地域経済活性化に向けた商工業振興対策や観光推進事業
  - ・ 土木費では、安全で快適な生活を支える道路網整備や耐震化促進事業
  - ・ 災害復旧費では、昨年豪雨被害を受けた農地や道路等の災害復旧事業
- 等であります。一部、不用額、繰越額もありますが、概ね予算に沿った適切な執行状況であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度簡易水道事業特別会計決算であります。地域住民の生活用水を安定供給するための施設管理及び配水管布設替工事等が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度地域下水道事業特別会計決算であります。生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るための施設管理や水洗化促進事業等が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度上水道事業会計決算であります。建設事業においては、畑野町の水道未普及地域解消事業に係る給水戸数の拡張に向けた給・配水管布設工事や千代川浄水場の耐震補強工事等が実施されました。

一方、経営状況は、大口利用者の減少や節水意識の定着等により、年間配水・給水量ともに減少し、2620万1千円の当年度純損失を計上、前年度繰越欠損金を加えた未処理欠損金は10億5545万円となり、依然として大変厳しい財政状況であります。より一層の経営努力により健全経営に向かうことを望み、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、平成24年度下水道事業会計決算であります。建設事業においては、主に曾我部町、蘆田野町地内における管渠の布設工事、また、年谷浄化センターの老朽化に伴う改築更新事業が継続して実施されました。

一方、経営状況は、4256万円の純利益となっておりますが、前年度繰越欠損金を加えた未処理欠損金は、9億4899万1千円となっており、依然として大変厳しい財政状況であります。より一層の経営努力により健全経営に向かうことを望み、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。

## 産業建設分科会

## 平成25年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	農業担い手づくり育成事業 <農林振興課>	継続(拡充)	就農者との交流、情報交換の場を通じて現場の意見を集約し、就農形態に応じた手立てを検討するとともに、ソフト面にも配慮した効果的な支援に努められたい。
2	商店街等活性化事業 <ものづくり産業課>	継続(改革改善)	商店が疲弊している現状から、現在の事業展開の手法、成果のとり方を見直すこと。行政からの積極的な働きかけのもと、商店に新しい価値を創出し、意欲のある個店を通じて商店街を底上げ、波及する効果をめざした手法を検討されたい。
3	道路維持管理事業 <土木管理課>	継続(拡充)	財源の確保に努めるとともに、適切な執行体制のもと、計画的な予防保全による効率的で効果的な維持管理に努めること。 公平性に留意した優先整備基準の明確化を図り、透明性の高い事業推進を望む。